

NCN 報道番組



コメ価格の高騰が社会問題となっている。高騰の原因や県民生活への影響をはじめ、政府備蓄米放出の効果、適正なコメ価格、本年産米の供給と需要見通し、さらに鳥取県内のコメ農家の現状と将来などを探る。(鳥取市立川町7丁目、LIMNOのV.co-Labで収録)

テーマ 「コメの価格と需給」

【出席者】

- 鳥取県知事 平井 伸治氏
JA全農とっとり本部長 小里 司氏
鳥取県生活協同組合副理事長 高倉 美香氏
司会 森原 昌人(日本海新聞元論説委員長)
池内 萌加(NCNアナウンサー)

【NCN放送日程】

NCN地域情報番組「まちネタコーナー」で第1部「コメ価格の高騰」は7月3日(木)～、第2部「コメの安定供給」は同10日(木)～、第3部「コメ農家の現状と将来」は同31日(木)～、いずれも午後7時から繰り返し放送。全放送は8月の予定。



高倉 美香氏

小里 司氏

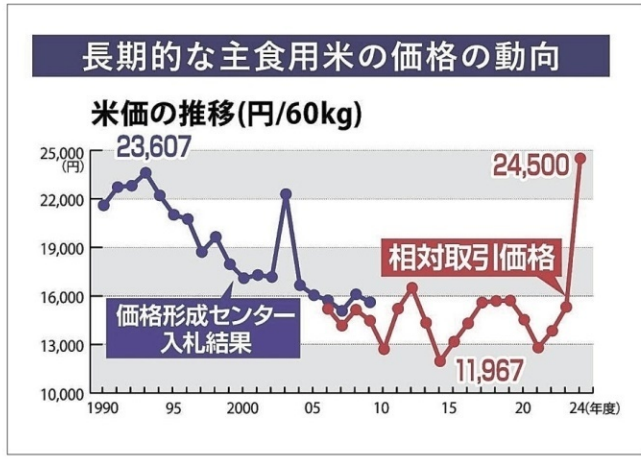
平井 伸治氏

学んだコメ作りの大切さ 平井氏
卸と小売り複数年契約を 小里氏
複雑な流通が不安広げる 高倉氏

第1部 コメ価格の高騰

データ1

コメの産地と卸との取引価格から長期的な主食用米の価格の推移を見ると、60kg当たりで1993年は2万3607円だったが、その後下がり続け、2014年には半分の1万2千円弱となった。24年には急騰し、2万4500円となった。(グラフ参照)



「コメ高騰による県民生活への影響は、JAはコメ高騰をどう受け止めているか。平井 消費者の立場からは高過ぎ、米価の安定が大切だ。一方、産地としてはコストに見合うフェアライス(適正価格)も必要で、どう折り合いをつけていくかだ。JAが農家に支払う概算金に沿って普通に流通すれば、5kg3千円以下で収まる。政府が米価の安定や適正化のためのメッセージを出し、業者間のスポット価格の相場に影響が出てくる。今の状況はまさに、念だんコメを扱って

いな業者がJAの生産者仮払いより高く集荷し、転売して卸に流れた。JAの価格より高くなる高い価格で流通していることは本意で、残念だ。小里 6月に成立した食料システム法では、生産コストを担保するとして1袋当たり2万1822.5円と計算され、これを基準に本年産米の生産費一時払いは2万2千円とコストを担保した。この流れでは5kg3千円前半半ぐらいの価格となる。

高倉 消費者は適正価格を知りたい。昨秋からのコメの急な値上がりは、コメ農家の適正な取引価格だに思っている。いざ相場の混乱で、農家も消費者も納得できるフェアプライスを探さ段階となる。昨年はスポ

第2部 コメの安定供給

データ2

「コメの生産量は1960年代に1400万トを超えた。国はコメ余りを防ぐため80年に減反政策を開始。95年に食糧管理法、2018年に減反が廃止された。コメの需要は右肩下がりだが、令和のコメ騒動と価格高騰で、政府は生産抑制から増産への転換を掲げる。

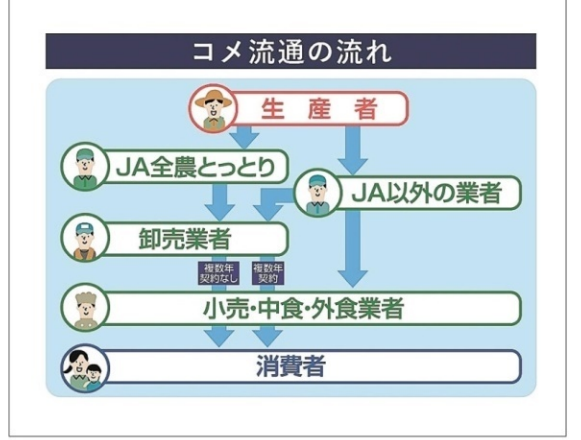
第3部 コメ農家の現状と将来

データ3

「コメの流通は鳥取県では生産者から集荷業者、小売店や中食・外食業者へへて消費者に届く。JA以外の業者から卸売や小売店などに流通するルートもある。(図解参照)

「コメ流通の現状と課題、改善策は。小里 昨年に限れば、生産者からJA、卸売への流通価格は60kg2万4千円台半ばだったが、JA以外で4万円を超える取引があった。これを抑制するため登録制、届け出制が必要だ。外食やコンビニでは複数年契約で安く流通している。小売りも卸との複数年契約が必要と思う。平井 異常事態を解消することで農家からJA、店舗、インターネット直売な

「所得補償を含め、コメ農家の所得安定策は。平井 今回のコメ騒動で私たちがコメ作りがいかにか大切に学んだ。夢を持って農業にすることが地方創生2・0の地域づくりに役立つ。食料の安定生産につながる。輸出の目玉や外国



「コメ流通の現状と課題、改善策は。小里 昨年に限れば、生産者からJA、卸売への流通価格は60kg2万4千円台半ばだったが、JA以外で4万円を超える取引があった。これを抑制するため登録制、届け出制が必要だ。外食やコンビニでは複数年契約で安く流通している。小売りも卸との複数年契約が必要と思う。平井 異常事態を解消することで農家からJA、店舗、インターネット直売な

「コメ流通の現状と課題、改善策は。小里 昨年に限れば、生産者からJA、卸売への流通価格は60kg2万4千円台半ばだったが、JA以外で4万円を超える取引があった。これを抑制するため登録制、届け出制が必要だ。外食やコンビニでは複数年契約で安く流通している。小売りも卸との複数年契約が必要と思う。平井 異常事態を解消することで農家からJA、店舗、インターネット直売な

「コメ流通の現状と課題、改善策は。小里 昨年に限れば、生産者からJA、卸売への流通価格は60kg2万4千円台半ばだったが、JA以外で4万円を超える取引があった。これを抑制するため登録制、届け出制が必要だ。外食やコンビニでは複数年契約で安く流通している。小売りも卸との複数年契約が必要と思う。平井 異常事態を解消することで農家からJA、店舗、インターネット直売な